

取扱説明書
 電動ウィンチ DC24V
 品番：#3230300000 型式：EWX80S

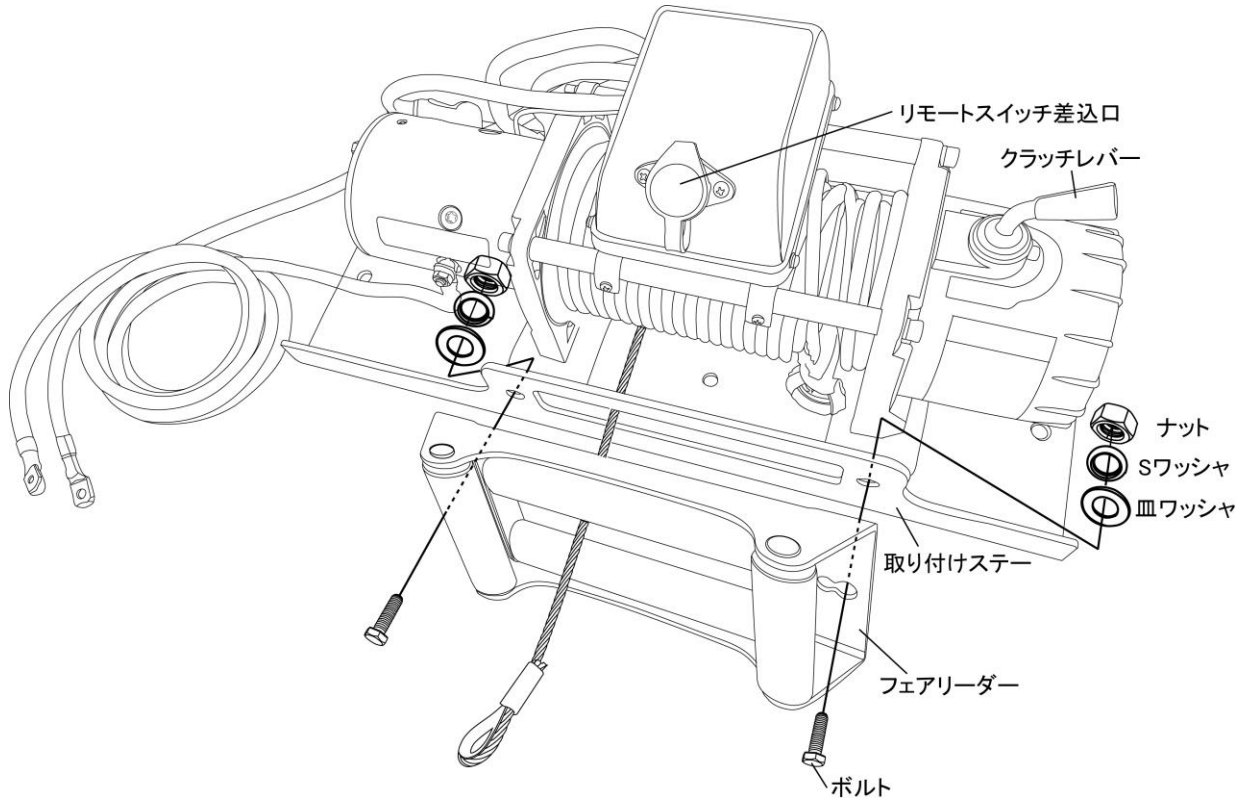


図1

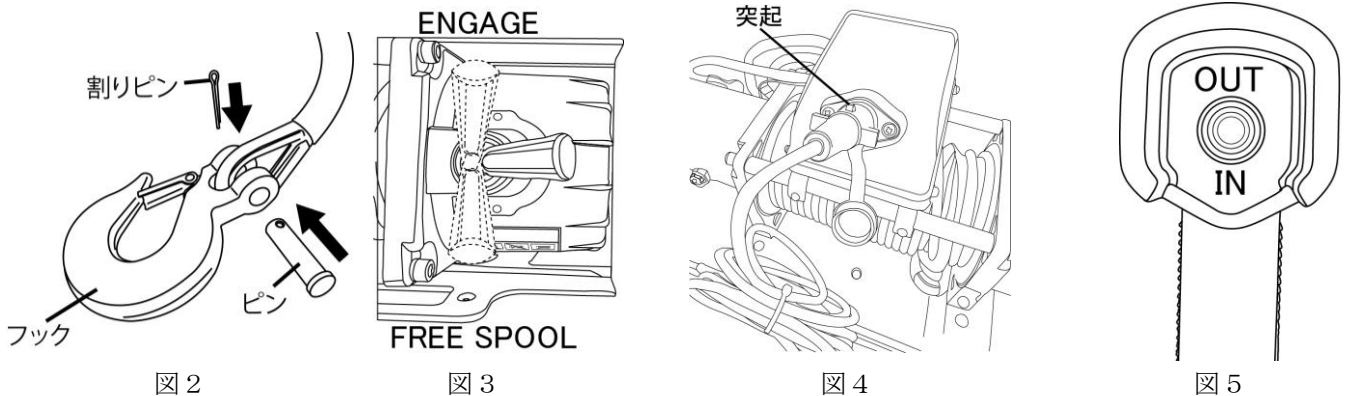


図2

図3

図4

図5

1. 設置方法

- ① 取り付けステーとフェアリーダーの穴位置を合わせて、フェアリーダー側からボルトを挿入し、取り付けステー側から皿ワッシャ・Sワッシャ・ナットをセットし、ナットを時計回転方向に回して締め付け、フェアリーダーを確実に固定してください（図1参照）。
- ② フェアリーダーにワイヤーケーブルを通し、ワイヤーケーブル先端のワッカ部分に付属のフックをピンを使用して取り付けて、最後に割りピンで抜け止めをしてください（図2参照）。
- ③ 電動ウィンチのモーター部に繋がっている3本のコードが確実に固定されている事を確認してください。固定が不完全な場合は、ナットを時計回転方向に回して固定してください。固定後はビニールカバーを被せてください。
- ④ 赤色バッテリーコードを車両バッテリーのプラス端子に接続してください。
- ⑤ 黒色バッテリーコードを車両バッテリーのマイナス端子に接続してください。
- ⑥ 「2. 使用方法」を参考にして、正常に作動する事を確認してください。必ず、**正常に作動する事を確認後、車両への取り付け作業行って**ください。
- ⑦ 車両への取り付け前に、取り付け場所が本機の能力に充分耐える事が出来るか確認してください。
- ⑧ SRSエアバック装着車両に本機を取り付ける場合は、取り付け場所によっては、SRSエアバックの作動に影響を与える可能性があります。取り付け前には、必ず確認をしてください。
- ⑨ 上記を確認の上、取り付けステーの6ヶの穴を利用して、車両側に確実に固定してください。
- ⑩ お客様で取り付けステーを作られる場合は、必ず本機の能力に耐える事が出来る構造にしてください。

2, 使用方法

- ① 荷重を掛けて本格的に使用する前に、何度か試運転を行い、操作方法を理解してください。必ず本機を装着している車両のエンジンを始動させて使用してください。
- ② タイヤに車輪止め等を使用して、本機を装着している車両が動かないようにしてください。
- ③ クラッチレバーを『FREE SPOOL』側に切り替えて、ワイヤーケーブルをドラムから引き出し、フックを対象物のアンカーポイントに掛けてください。この時、ドラムにワイヤーケーブルを最低5巻分は必ず残してください。クラッチレバーの切り替えは、必ずモーターが止まった状態で行ってください（図3参照）。
- ④ 対象物にフックを取り付け後、クラッチレバーを『ENGAGE』側に切り替えてください。クラッチレバーが『ENGAGE』側に切り替わらず途中で止まる場合は、ワイヤーケーブルをドラムから少し引き出して、再度切り替えてください（図3参照）。
- ⑤ リモートスイッチの突起を上に向けた状態でリモートスイッチ差込口に向きを合わせて、確実に接続してください（図4参照）。
- ⑥ 確実にフックが対象物に接続されている事を確認してください。
- ⑦ クラッチレバーが『ENGAGE』側に切り替わっている事を確認して、リモートスイッチのレバーを『IN』側に倒してください。ドラムにワイヤーケーブルが巻き取られます（図5参照）。
- ⑧ 定期的にドラムへワイヤーケーブルが均一に巻き込まれている事を確認してください。
- ⑨ **巻き上げ作業中に、クラッチレバーを『FREE SPOOL』側に切り替えない**でください。
- ⑩ 巻き上げ終了後、対象物が安定している事を確認して、フックをアンカーポイントから取り外してください。
- ⑪ 作業終了後は、ワイヤーケーブルをドラムに最後まで巻き込み、リモートスイッチを取り外し、クラッチレバーを『FREE SPOOL』側に切り替えてください。
- ⑫ リモートスイッチのレバーを『OUT』側に倒すと、ドラムが逆回転して、ワイヤーケーブルを送り出すことができます（図5参照）。
しかし、過度にドラムを逆回転させると、ブレーキが過熱します。ワイヤーケーブルを引き出す時は、手動で作業をしてください。

3, メンテナンス方法

- ・ ワイヤーケーブルに磨耗、損傷がある場合は、直ちに交換してください。
 - ① ワイヤーケーブルをドラムからすべて引き出してください。
 - ② ドラムに固定されている六角ネジを反時計回転方向に回して、取り外してください。
 - ③ 新しいワイヤーケーブルのクランプ端子に、六角ネジを通して時計回転方向に回し、ドラムに確実に取り付けてください。この時、ネジの緩みを防止する為、ネジ用の接着剤を使用してください。
- ・ ワイヤーケーブルに荷重を掛けた状態で、ドラムに巻き取ってください。これにより、ワイヤーケーブルが若干緊張し、ドラムにワイヤーケーブルが堅く巻き付きます。
- ・ 使用していない時でも、定期的（1回/月）にワイヤーケーブルを引き出し、本機を作動させて、ワイヤーケーブルをドラムに巻き取ってください。
- ・ 動的箇所には定期的に注油、グリスアップをしてください。

4, 注意事項

△警告（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。）

- ・ 本機の最大使用牽引力は**3629kg**です。それ以上の荷重を掛けて使用しないでください。
- ・ 作業中は、作業場所（ドラムから引き出しているワイヤーケーブルの長さの1.5倍の範囲）に**人を近付けさせない**でください。又、作業時も、可能な限り**ワイヤーケーブルから離れて作業**をしてください。
- ・ 作業中に、ワイヤーケーブルの上には絶対に載らないでください。
- ・ ワイヤーケーブルを対象物に接続した状態でクラッチレバーを『FREE SPOOL』側に切り替えないでください。不意にワイヤーケーブルが引き出されます。
- ・ 絶対にフックをワイヤーケーブルに接続しないでください。又、ワイヤーケーブルを対象物に巻き付けしないでください。ワイヤーケーブル破損の原因になります。必ず、十分な強度を有したスリングかチェーンを使用してください。
- ・ ワイヤーケーブルをドラムから引き出す場合は、**最低5巻き**は、ドラムに残してください。ワイヤーケーブルとドラムを固定するクランプ端子は、荷重を支える構造にはなっていません。過大な荷重が掛かった場合、ワイヤーケーブルがドラムから外れ、事故につながります。
- ・ ワイヤーケーブルを交換する時に、能力の低いワイヤーケーブルに交換しないでください。
- ・ 巻き上げ中に衝撃荷重がワイヤーケーブルに掛かると、ワイヤーケーブルが損傷する可能性があり、重大事故につながる恐れがあります。常に、細心の注意を払い、慎重に作業をしてください。
- ・ 本機作業中は、ワイヤーケーブルやドラムに手を触れないでください。又、衣服等がドラムに巻き込まれない様に、離れて作業をしてください。

△注意 (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又は、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)

- ・ リモートスイッチの急な切り換え操作はしないでください。**IN/OUTの切り換えは、必ずモーターが止まった事を確認してから**操作してください。
- ・ 本商品を車や物を運搬する時の固定用に使用しないでください。
- ・ 本機を水中で使用したり、水没させないでください。
- ・ ワイヤークーブルが乱巻きにならない様に、注意して巻き取り作業をしてください。
- ・ 本機の**連続使用時間は3分**(最大負荷の場合)です。使用後は、自然冷却をしてください。
- ・ 運転中は、常にモーター、ギアの音、振動等に注意を払い、異常があれば、直ちに使用を中止してください。
- ・ 操作中は、**絶対に持ち場を離れない**でください。
- ・ 作業に適した服、及び手袋を着用して、作業してください。ダブついた服や、貴金属は身に付けしないでください。
- ・ コードを持って、本機を引っ張ったり、動かさないでください。
- ・ モーターが素手で触れないほどに熱を持った場合は、モーターの電源を切って、**自然冷却**させてください。又、作業中にモーターが止まった場合も同様に、電源を切って、自然冷却させてください。
- ・ 使用前に本機の各部を点検し、異常がある場合は、使用を中止してください。
- ・ 荷重を掛けて巻き上げ作業をしている時に、ワイヤークーブルがドラム上を不均一に巻き上げられる事がありますが、ドラムの片端に集中していなければ、問題はありません。片端にワイヤークーブルが集中して巻き込まれている場合は、荷重を解除してアンカーポイントが車両(電動ウィンチ)の中心になるように移動させてください。
- ・ 作業中は、安全な距離を保って、巻き上げ状態を観察してください。約1m巻き取る毎に、本機の作動を停止させて、ドラムの片側にワイヤークーブルが偏っていないかを確認してください。ワイヤークーブルが偏った状態で、巻き上げ作業を続けると、ウィンチの破損の原因になります。
- ・ 本機を使用する場合は、必ず車輪止めをして、車両が動かない様にしてください。
- ・ 必ず車両のエンジンを始動させて使用してください。バッテリーの充電状態が良くないと、本来の能力を発揮できません。
- ・ ワイヤークーブルに磨耗、傷等がある場合は、使用しないでください。
- ・ ワイヤークーブルを鋭利な物で傷つける、挟む、擦るようなことはしないでください。
- ・ ワイヤークーブル(フック)を対象物に接続した状態で、本機を設置した車両を動かさないでください。
- ・ 本機は、**車両に取り付けて車や物をスライドさせる機器です。車両以外には、取り付けしないでください。**
- ・ 本機は、**荷物の吊り上げ、吊り下げ、及び、人の輸送には使用できません。**
- ・ 定期的に各ケーブルが、劣化していない事を確認してください。劣化している場合は、直ちに交換してください。
- ・ コードとモーター、バッテリーとの接続箇所^①に錆が発生すると、能力低下、ショートの原因になります。定期的に確認をして、防錆対策を施してください。
- ・ リモートスイッチを使用して、モーターを回転させている時に、クラッチの切り替えをしないでください。
- ・ 不意の事故等に備えて、使用中のワイヤークーブルに重い毛布等を掛けると、ワイヤークーブルの跳ね返り時の保護になります。
- ・ 本商品はDC 24V電源の車両に設置して使用する機器です。工業用等の用途には、使用しないでください。
- ・ 本機の分解、修理、改造はしないでください。本来の能力を発揮できなくなる恐れがあります。
- ・ ドラムから引き出したワイヤークーブルを、無負荷の状態^②でドラムに巻き付けしないでください。ドラムにワイヤークーブルがたるんで巻き取られます。若干、荷重を掛けて巻き取ってください。
- ・ 急激にブレーキを掛けたり、緩めたりしないでください。落下や巻き込み事故が起き、非常に危険です。
- ・ 本機を使用しない時は、リモートスイッチをリモートスイッチ差込口から取り外し、車内に保管してください。

